

トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

～森林の好循環を目指し～

4月1日 森林経営管理制度がスタート

日本国土の7割を占める森林は、戦後復興期や高度経済成長期に植えられたスギやヒノキなどの人工林が大きく育ち、木材として利用可能な時期を迎えようとしています。

一方、山村の過疎化や高齢化により管理が行き届かず荒れていく森林が多くなっており、様々な問題に直面しています。

人工林は、「植える、育てる、収穫する、使う」というサイクルがうまく循環していく必要がありますが、先ほどの問題などからそれがうまく機能せず、荒廃する森林が増えています。

木は植えると成長し、密生してくると間伐が必要になります。密生した状態では、太陽光が森林の地表に届かず下草が枯れ、地面がむき出しの状態になります。そうすると降った雨が直接地表に当たり土砂崩れの危険が増してきます。

災害を未然に防ぐ意味でも森林管理は重要であり、間伐を行うことで森林の地表に光が入り下草が生え、木の根が成長し、水を貯え、土砂の流出を防ぐ森林になります。

さらに、木材は森林が吸収した二酸化炭素を固定しつつ、伐採後に新たに若い木を植えることで二酸化炭素を再び吸収し、地球環境の保全にも役立っています。

この循環を維持することが重要であり、将来を見通して管理する必要があります。

しかし、後継者がいないことや、都会に移住した子供たちに山が相続されてしまうことで、森林を手入れする所有者が減っています。 **この問題を解決するために！！！！**

林業の成長産業化と適切な管理に向けて



今年の4月から森林経営管理制度がスタートしました。

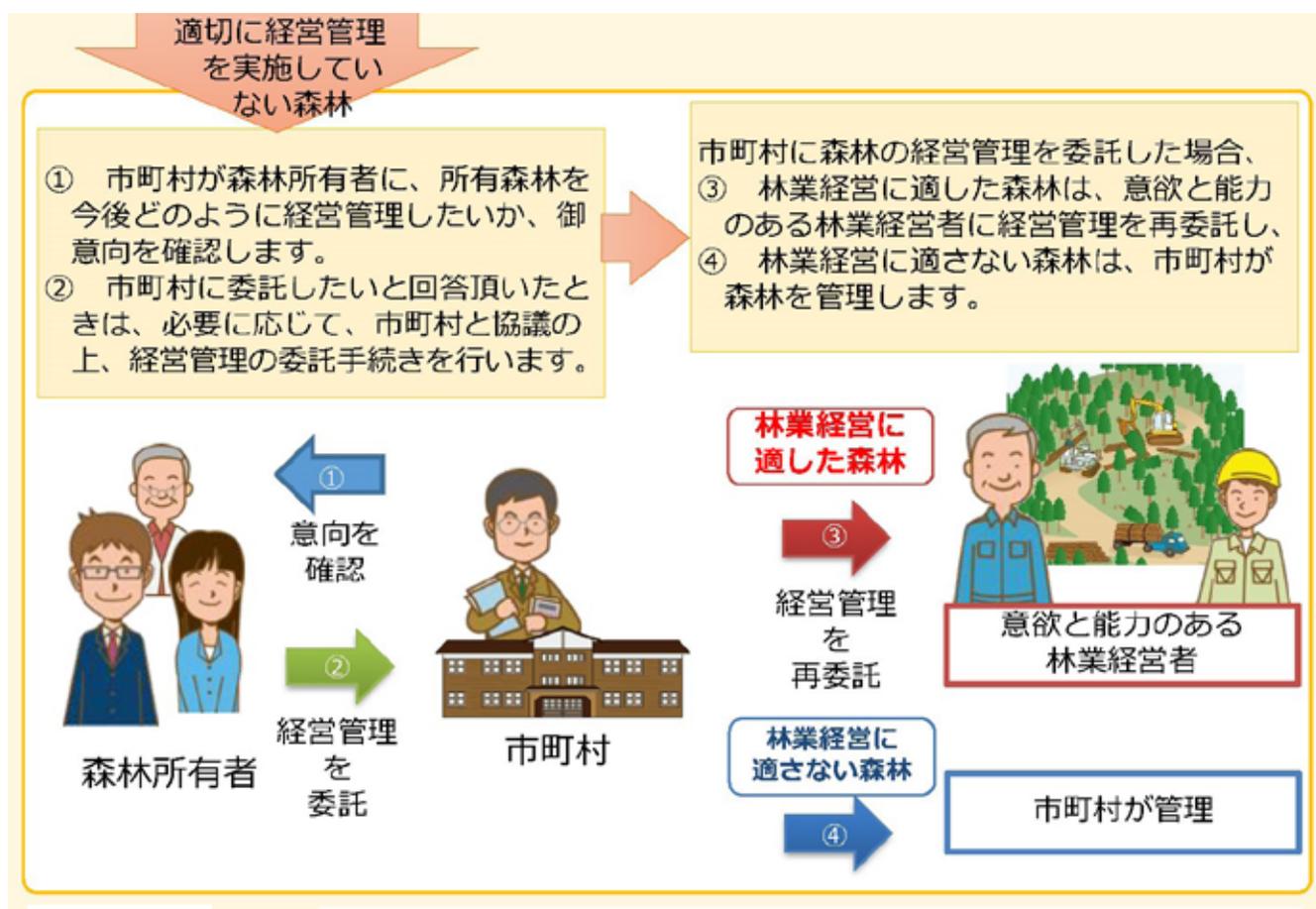
この制度は、手入れが十分でない森林の所有者に市町村が意向調査を行い、森林の経営や管理を市町村に委託する希望があるか伺います。

委託を希望する場合、林業経営に適した森林は、市町村が地域の林業経営者に委託します。林業のプロが小規模の森林をまとめ、林業機械を活用することで効率的に作業を行うことが可能となります。

対象地が山の奥にあり、木材を運ぶ費用がかさむような林業経営に適さない森林については、市町村がある程度間伐をした後、そのまま天然の森として再生するような管理も考えられます。

この制度で多くの森林が好循環するよう、近畿中国森林管理局としても現地検討会等を通じて林業経営者等に技術提供を行い、積極的に民有林への支援活動に取り組んでいきます。

国有林については、引き続き国が責任を持って管理経営を行っていきます。



詳しくは QR コードで検索してください。

ニュース

加賀市立橋立小学校で クイズを交え 森林教室

【石川森林管理署】

3月7日(木)、加賀市立橋立小学校(以下「橋立小学校」という。)の依頼を受けて森林教室を開きました。

この森林教室は、昨年10月16日に橋立小学校の4年生を対象に実施した加賀海岸自然休養林(浜山国有林)観察会のフォローアップとして、観察会で学んだ知識や体験をより一層深めることを目的として行いました。

今回は5年前に新築され、木材がふんだんに使われた橋立小学校のランチルームを使って行い、10月と同じ4年生の児童25名が参加しました。

最初の1時限目ではプレゼンテーション形式で行いクイズを交えながら、森林の役割、海岸林の成り立ちや松枯れ等について学びました。その後、海岸林の話で出てきたマツノマダラカミキリの標本を見たり、松枯れの原因でもあるマツノザイセンチュウ(以下「センチュウ」という。)を顕微鏡を使って観察しました。

児童たちは、活発に動いているセンチュウを見て、「これがマツの中に入っているのか」「こんなに小さいのがマツに水分を吸えなくさせて枯らすのか」と目を丸くして驚き、興味津々で何度も顕微鏡をのぞきこんでいました。

2時限目は、聴覚、視覚、味覚、嗅覚、触覚の五感を使って森林や木材を体験することをテーマに、5つのブースに分かれ体験学習を行いました。児童たちはそれぞれクイズに挑戦しながら各ブースを回ります。触覚のブースでは様々な樹種の木ブロックを持って重さを比べ重い順に並べる体験や、ブロックを水の中に入れてみる実験をしました。

ブロックを水に一斉に入れてみると、水に浮くブロックと沈むブロックがあり、木材が樹種によって重さが全く異なるのを知って歓声を上げて驚いていました。



顕微鏡を覗き込む児童

最後の振り返りの時間で、「樹種によって木材の重さ、色やにおいが全然違うのをはじめて知った」「木がこんなにも自分たちの役に立っていると思わなかった」など感想を言って森林や海岸林の大切さが心に強く残ったようでした。また、「植樹や、松葉かきなどに参加してみたい」と言った声も多く聞かれ、今後の積極的な活動に期待させられました。

今後とも、森林環境教育などを積極的に推進し、森林・海岸林の大切さを伝えていくとともに地域の皆様と海岸林を保全する活動や普及啓発などを行い、地域の活性化にも貢献できるよう取り組んでまいります。

「七里御浜防風林GG作戦」 約100名が参加

【三重森林管理署】

三重県南部の熊野市、御浜町、紀宝町に位置する七里御浜^{しちりみはま}国有林で、3月10日（日）、「七里御浜松林を守る協議会」の呼びかけのもと、「平成30年度七里御浜防風林GG作戦」を地域の方々約100名の参加で開催しました。

GGとは、グリーン（松林を守り）グロー（育てる）という意味で、平成5年度から植樹や林内清掃に取り組んでおり、今回で24回目となりました。

七里御浜国有林は、熊野灘に面した延長約25kmの海岸防災林で、地域の生活や農作物を海からの強風や潮害、飛砂等から守るため保安林として重要な役割を果たしています。

また、「吉野熊野国立公園」第1種特別地域、世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」のバッファ地域となっているほか、レクリエーションの森に指定され、全国93箇所のひとつとして「日本美しい森 お薦め国有林」にも選ばれています。



七里御浜国有林の海岸防災林

イベント当日は雨が降るあいにくの空模様でしたが、熊野市・御浜町・紀宝町の3会場に家族連れを含む約100名の方々に参加し、

松くい虫被害に抵抗性があるとされる苗木（抵抗性クロマツ・2年生）170本の植樹を行いました。参加した子どもたちも職員の植栽指導を熱心に聞き、周りの方々が植えている姿を見習い一生懸命に植えてくれました。

参加された方からは、「植えたマツが元気に育って欲しい」「悠然と佇む松林を再生できるように今後とも参加していきたい」との声が聞かれました。



このGG作戦の活動を通し、風や砂から人々の生活を守ってくれる海岸防風林として、また、人々の癒やしの空間としての七里御浜国有林が地域の中で親しまれ、大きな役割を果たしているのだと改めて実感しています。

三重森林管理署では、今後ともこの美しい七里御浜をしっかりと管理し、地域にとってより親しまれる国有林にしていきたいと考えています。



GGに参加されたみなさん（紀宝町）

七里御浜松林を守る協議会とは

七里御浜松林の自然環境の整備等、公益的機能の維持向上を図るため、関係機関の連携を密にするとともに地域住民の協力も得て効果的かつ適切な対策を講じ、七里御浜松林の保全に資することを目的に、所在する紀宝町、御浜町、熊野市と三重県（熊野農林事務所）、環境省（近畿地方環境事務所）、三重森林管理署で構成する協議会

お知らせ

平成31年度

国有林モニター決定

近畿中国森林管理局では、広く国民の皆様から、ご意見やご要望をお聞きして国有林野行政に反映させるため「国有林野モニター事業」を実施しています。

平成31年度は63人の「国有林モニター」さんに活躍いただくこととなりました。

一年間よろしくお願ひします。

「第6回森フェス

～癒しの森のネイチャーライフ元年！～

第6回目となる森フェスは、新しい時代の幕開けとともにやってきました。

テーマは「癒しの森のネイチャーライフ元年！」。心と身体にやさしい新しい森林体験がいっぱい。森と人、人と人がつながるフェスティバルです。(申込不要)

山口森林管理事務所からは”年輪ぴかぴか★木の輪切りのオリジナルグッズ”、”滑マツは235歳”など、様々な催しを企画しています♪
木の輪切りをぴかぴかに磨いて、絵を描いたり色付けしたり、オリジナルグッズを作ろう！

- * 開催日時
5月6日(月) 9:30～16:00(雨天実施)
- * 場所
国立山口徳地青少年自然の家(山口市徳地船路668)
- * 主催 森フェス実行委員会



森林のギャラリー (同庁舎1階)

桜の花が香る4月は、広島県の木材をふんだんに使った公共建築物の紹介や奈良県吉野町による木材の温もりを提供するイベントなど、子どもから大人まで「木の良さ」に魅了される展示を行います。

展示内容

- (1) 広島県による公共建築物等の木造化・内装木質化の取組紹介、早生樹(コウヨウザン)の紹介
- (2) 森林や木材の魅力の効果的なPRを行っている奈良県吉野町の取組紹介
- (3) 近畿圏での国産材住宅の取組紹介など

展示期間

- (1) 広島県 4月1日～4月19日
- (2) 奈良県吉野町 4月1日～5月10日
- (3) 国産材住宅推進協会 4月1日～6月14日

開館時間

月曜から金曜日まで(祝日は除く)
9時00分～17時00分



コウヨウザンの輪切り

スギよりも成長が早く
強度も強い

和紙と薄く剥いだヒノキの皮
で作られていますプールの中には卵の形をした
木が入っています

木の玉 プール

シリーズ 『国有林 最前線！』

鳥取森林管理署 ～中国山地の最高峰「大山」～

中国地方の最高峰として知られる大山（標高 1,709m）一帯は大山隠岐国立公園内に指定されており、大山主峰を中心として周辺に広がる森林約 5,600ha は国有林として鳥取森林管理署が管理経営をしています。その山容は、見る角度によってさまざまであり、西から見ると伯耆富士の名のとおり、富士山のように裾野を広げ安定した穏やかな形をしています。北、南、東からは「北壁」、「南壁」、「東壁」と呼ばれる荒々しく険しい大崩壊地が見られます。この大崩壊からの土砂の流出を防ぎ、地域住民の安心安全を守るため、国有林では、大正6年（1917年）から治山事業を実施しており、平成29年には大山治山事業100周年を迎えました。

大山はこういった荒々しい一面のほか、中腹一帯には西日本最大級のブナ林、また、頂上付近には天然記念物であるダイセンキョウボクの純林が広がるなど貴重な自然が残されており、国有林では森林生態系保護地域に設定し、自然環境の保全に努めています。しかし、平成25年頃から大山周辺では、カシノナガキクイムシの被害が発生し、広がりを見せている中、鳥取森林管理署でも地域と連携しながらナラ枯れ対策を実施しています。



大山山頂付近

また、平成30年には大山開山1300年祭と山の日全国大会も大山で開催され、様々なイベントが行われ、多くの人々が大山に関心を持っていただきました。皆様も大山へ来ていただき、自然の恵みを感じてみてはいかがでしょうか。

岡山森林管理署 岡山森林事務所 地域統括森林官 安東靖師

岡山森林事務所の担当区域は 岡山県南部9市4町にわたり、兵庫県境から広島県境までの 2,373 km²に所在する国有林 4,645ha、官行造林地 451ha を管理しています。

岡山森林事務所の特色としては、小面積の国有林が多く、最大で約 830ha、最少は約 1ha の 28 の団地化した国有林が広範囲に分布し、瀬戸内海の鹿久居島^{かくいじま}、六口島の国有林も管理しています。管轄する国有林はコナラ、アベマキ等を主体とした天然林が多く、ヒノキ等を主体とした人工林は少ないことが特徴であり、また、都市近郊林が多く、境界管理、地元要望等が多いため、森林管理が主な業務となっています。

なお、岡山森林事務所を代表する国有林に操山^{みさおやま}国有林があります。版籍奉還により国有林となる以前は岡山藩の藩林であり、日本三名園のひとつである「後樂園」の借景や社寺の背景林としての景観美を保っています。また、林内には旗振台古墳^{はたふりだい}をはじめとする古墳が多く残されています。

昭和51年「自然休養林」に設定され、遊歩道・東屋などが整備されました。国有林を含む周辺一帯は「操山公園」と称され年間数万人の市民が訪れています。



操山自然休養林